

## 株式会社 松屋 2018年4月上報告

## 1. 店舗別 売上高概況 (単位:%)

	売上高	入店客数
① 銀座本店	9.0	1.1
② 銀座店	11.2	6.1
③ 浅草店	-17.0	-6.5

- ① 銀座本店 : 「銀座本店」の数値は「銀座店」と「浅草店」両店計の売上高対前年増減率を表記いたしております。  
 ② 銀座店 : 「銀座店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。  
 ③ 浅草店 : 「浅草店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。

## 2. 売上高対前年増減率推移

(単位:%)

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
銀座本店	-2.3	-0.6	6.5	10.0	13.5	8.1	11.4	2.9	1.3	12.3	5.3	9.0
松屋銀座	-2.4	-0.9	7.1	11.0	14.2	8.7	12.3	3.1	1.4	13.1	5.3	11.2
松屋浅草	-0.4	2.5	-1.3	-0.8	4.0	-0.9	1.8	0.5	0.3	-0.2	4.7	-17.0

## 3. 店舗別商況

銀座店	銀座店は、8階イベントスクエアで開催された『与勇輝展』、『ウォーリーを探せ！展』等の文化催事が好評に付き、売上高・入店客数ともに前年を大幅に上回りました。また、婦人部門は気温が高い日が続いたことも影響し、衣料ではブラウス、ワンピースが、雑貨では帽子、サングラスが好調で売上は前年実績を上回りました。免税売上高につきましては、引き続き化粧品、ラグジュアリーブランド、時計等を中心に堅調に推移しております。併せて、免税を除いた国内のお客様の売上高も、前年を上回り好調に推移しております。
浅草店	浅草店は、桜の開花・満開が3月に前倒しになったこと等もあり、主力の食料品が苦戦、婦人衣料雑貨、化粧品の売上高は前年を上回ったものの、店全体では前年実績に届きませんでした。

## 4. 商品別売上高対前年増減率

(単位:%)

	銀座本店	松屋銀座
紳士服・洋品	20.7	20.7
婦人服・洋品	1.8	2.0
子供服・洋品	11.7	11.7
呉服寝具他	-25.8	7.2
衣料品計	2.2	5.9
身廻り品	12.5	12.5
雑貨	33.6	32.4
家具	-4.4	-4.6
家電	-4.4	-4.8
家庭用品	4.0	3.6
家庭用品計	-1.0	-1.4
食料品	-4.7	-2.3
食堂・喫茶	8.3	8.3
サービス、その他	13.7	14.5
合計	9.0	11.2

## 商品別概況(銀座店)

- \*婦人服・洋品は、キャリアウェアにおいてブラウスやワンピース等の春物・初夏物衣料品が好調に推移し婦人服全体でも売上高は前年を上回りました。  
 \*初夏を思わせる気候により、サンダル等の婦人靴の売上も好調に推移いたしました。  
 \*雑貨は、化粧品が全体を牽引し、引き続き堅調に売上高を伸ばしました。

## (特記事項)

- \*「5月上速報」は、6/1(金)15時に開示を予定しております。